ふじみ衛生組合 リサイクルセンター整備実施計画(案) 市民説明会

第1回 令和5年6月9日(金)19:00~ 第2回 令和5年6月17日(土)13:00~

1

〇配布資料確認

- パワーポイント資料
- ふじみ衛生組合リサイクルセンター整備実施計画(案)
- リサイクルセンターパンフレット
- ふじみ衛生組合インフォメーション2022

ふじみ衛生組合の紹介



- ○三鷹市・調布市で組織する一部事務組合(特別地方公共団体)
- 〇管理者:河村三鷹市長、副管理者:長友調布市長
- ○可燃ごみ焼却処理施設 (クリーンプラザふじみ) や 不燃物処理資源化施設 (リサイクルセンター) の運営
- 〇三鷹市人口約19万人、調布市人口約24万人の合計約43万人の 家庭ごみや事業系可燃ごみの処理を行い、公衆衛生・地域環境 の保全に努めている。

:

リサイクルセンター整備実施計画(案)

令和5年3月 ふじみ衛生組合

1 目的

実施計画(案)P1

不燃系ごみ(不燃ごみ及び粗大ごみをいう。)を破砕・選別処理するためリサイクルセンターを平成6年度に建設。

平成7年、容器包装廃棄物の分別収集など、排出の抑制及び分別基準適合物の再商品化等を促進するよう、必要な措置を講することに努める。

令和4年4月にプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行され、製品プラスチックも資源化の対象となった。

施設の経年劣化による老朽化や、搬出入動線と構内作業動線が交錯することによる労働環境への影響等が生じていることから、新施設の整備が必要。

5

1 目的

実施計画(案)P1

令和元年度

• 「リサイクルセンター整備基本構想」策定(施設整備の基本的な考え方や方針を示す)

令和3年度

• 「リサイクルセンター整備基本計画」策定(施設整備の基本的な計画を取りまとめ)

現在

• 「リサイクルセンター整備実施計画(案)」(基本計画で検討課題となっていた製品プラスチックの対応や事業手法等について方向を示すとともに、今後の施設整備事業を行うための経済性、安全性、維持管理性等を再評価し、施設整備の具体的な計画を取りまとめるために策定)

2 現リサイクルセンターの概要及び課題

(1) 現リサイクルセンターの概要

実施計画(案)P2

施設名称 リサイクルセンター

所在地 調布市深大寺東町7丁目50番地30

敷地面積: 26,288.52㎡

(クリーンプラザふじみ含む)

建築面積 中央棟: 3,043㎡

東棟: 974㎡ 北棟: 731㎡

建設年度 中央棟:平成6年12月竣工

東棟・北棟:平成22年6月竣工

施設規模 合計83.9 t /5h

中央棟

不燃ごみ・プラスチック処理ライン:71.0 t/5h

びん・缶処理ライン: 2.4 t /5h

東棟

小型破砕機:3.0 t/5h

北棟

ペットボトル処理ライン:7.5 t /5h



実施計画(案)P3

2 現リサイクルセンターの概要及び課題

- (2) 現リサイクルセンターの課題
 - ア 施設が老朽化している
 - イ プラスチック専用の処理ラインがない
 - ウ ごみを貯留するスペースがない
 - エ 作業場所やストックヤードが中央棟、東棟、北棟に 点在している
 - オ 施設内の作業環境が良くない
 - カ 粗大ごみなど一部の品目は屋外で処理を行っている
 - キ 見学ができない
 - ク 粗大ごみ等を持ち込むことができない

3 新施設整備基本方針

新施設の整備に当たっては、既存施設における課題を 解決するとともに、計画段階から市民との協調を図りな がら進めていきます。

具体的な基本方針は、次のとおりです。

- ① 循環型社会形成に資する安定した処理が可能な施設
- ② 地球環境に優しい施設
- ③ 安全な処理を行う施設
- ④ 災害に対して強靭な施設
- 5 周辺環境に配慮した施設
- ⑥ 地域との調和を図る施設
- ⑦ 経済性に配慮した施設
- ⑧ 環境教育の拠点となる施設

実施計画(案)P4

4 実施計画の概要

実施計画(案) P5 表4-1 実施計画の概要を参照 実施計画(案)P5

5 事業主体

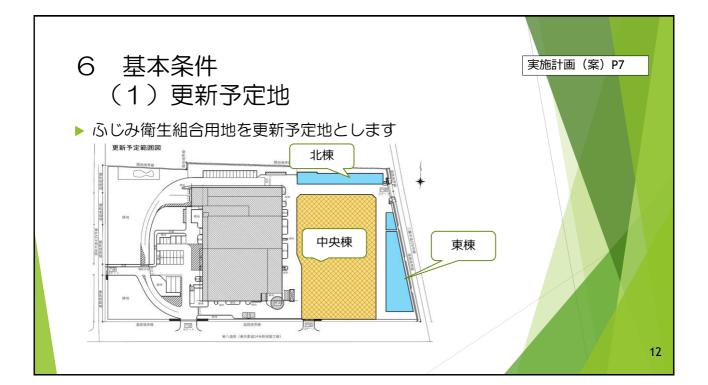
♪ ふじみ衛生組合を事業主体とします

一般廃棄物の処理については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第6条の2第1項において、市町村の処理責任が規定されており、自区内処理の原則もあることから、一般的には市町村(一部事務組合を含む。)が、自らの区域内において施設を整備し、処理を実施していく必要があります。

そのため、新施設の整備・運営についても現状と同様に当組合を事業主体とし、効率良く、適正にごみ処理を行うこととします。

11

実施計画(案)P6



6 基本条件 (2)処理品目

実施計画(案)P8

表6-1 処理品目と概略処理方法					
処理品目	概略処理方法				
粗大ごみ	資源物、処理不適物を選別回収後、不燃ごみと同様の処理を行います。				
不燃ごみ	資源物、処理不適物を選別回収後、破砕処理を行い、鉄、アルミ、残渣の 3種類に選別します。				
プラスチック	破袋後、手選別で資源化不適物を除去し、再商品化できるよう圧縮梱包し ます。				
ペットボトル	手選別で資源化不適物を除去し、再商品化できるよう圧縮梱包します。				
びん	異物除去後、手選別又は機械選別により、無色、茶色、その他の色に選別 します。				
缶	異物除去後、磁選機及びアルミ選別機により、スチール缶とアルミ缶に選別します。				
有害ごみ	乾電池、蛍光管等の貯留、ライター、スプレー缶の処理を行います。				

6 基本条件 (3)施設規模

実施計画(案)P9

13

処理品目	計画処理量			
粗大ごみ	8 t/5 h			
不燃ごみ	23 t / 5 h			
プラスチック	40 t / 5 h			
ペットボトル	11 t/5 h			
びん・缶	13 t / 5 h			
施設規模合計	95 t / 5 h			

6 基本条件

(4)建築計画

将来の設備更新、改造に対応できるよう空間を設ける とともに、耐震性に優れ、環境に配慮した建築計画と します。

設計コンセプト

- 耐震
- 将来の機械更新 に配慮した空間 デザイン など

環境への配慮

- 清潔で臭わない
- 省エネルギー対策など

環境学習への対応

- 環境学習が体験できる
- 自由に利用できる

15

実施計画(案)P10

6 基本条件

(5) 安全対策等

資源物の適正処理が安定して継続できるような施設にするとともに、作業員が安全に働ける設備計画とします。

安全対策

- 労働安全衛生法 等関係法令の遵 守
- 階段、手摺、防 護柵等の設置 など

火災・爆発対策

- 破砕機投入前の 事前選別
- •消火設備の設置など

災害対策

- 災害廃棄物の保管
- •避難所機能 など

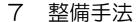
地震対策

- 建築基準法等関係法令の遵守
- •免震・耐震対策 など

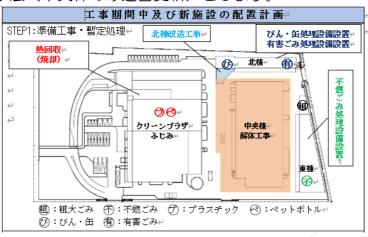
労働安全衛生対策

実施計画(案) P11、P12

- 機械の緊急停止 対策
- 防音、臭気、空調対策 など



自区内処理の原則に沿ったごみ処理ができ、経済性にも優れた整備手法(中央棟のみ建替更新)とします。



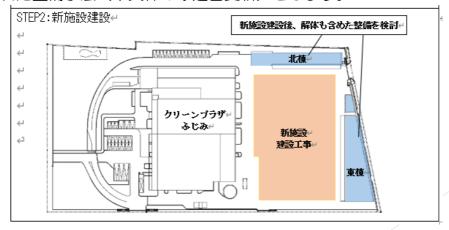
17

実施計画(案)P13

実施計画(案)P13

7 整備手法

自区内処理の原則に沿ったごみ処理ができ、経済性にも優れた整備手法(中央棟のみ建替更新)とします。



8 環境保全計画

実施計画(案)P14

市民の健康が最も重要であると認識し、万全の環境保全対策を講じます。

(1) 騒音、振動、悪臭対策

屋内作業を原則とし、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法などの国等で定められた規制基準を遵守します。

- ・ア 騒音対策
- ・イ 振動対策
- ・ウ 悪臭対策

19

8 環境保全計画

実施計画(案)P14、P15

市民の健康が最も重要であると認識し、万全の環境保全対策を講じます。

(2) 排水対策

・公共下水道に排出される場合は、各種法令の規制基準を満たす水質まで処理します。

(3) 粉じん対策

・プラント設備を建物内に設置し密閉型の施設とする など

(4) 省エネルギー、再生エネルギーの推進

・太陽光・風力発電などの発電設備の設置

9 付帯機能計画

実施計画(案)P16~P20

「環境学習機能」、「地域コミュニケーション」及び「防災機能」が充実した総合施設とします。

環境学習機能

- •工場見学ゾーン
- •環境学習ゾーン
- その他の環境学習

見学者対応機能

- 搬入から搬出までの一連の流れがわかる見学ルートを設置
- 見学者用窓は床からの 開口とし、施設内を良 く見えるようにする など

地域コミュニケーショ ン・市民への還元機能

- 集会などのコミュニ ティ活動に活用できる スペースを設置
- 市民が家具などを自ら 再生できるようリサイ クル工房を設置
- 粗大ごみ、不燃ごみ等 について持込みができ るようにする

防災機能

・クリーンプラザふじみからの電力及び温水を利用するとともに、備蓄倉庫機能を持たせるなど、避難所としての役割を果たせるよう自立化・多重化によるエネルギー確保など、施設の強靭化を追求

21

9 付帯機能計画 VR機器を駆使した例

つくば市 リサイクルセンターの例



9 付帯機能計画 ごみ分別ゲームの例

久留米市 宮ノ陣クリーンセンターの例



9 付帯機能計画

実施計画(案)P16~P20

「環境学習機能」、「地域コミュニケーション」及び「防災機能」が充実した総合施設とします。

環境学習機能

- •工場見学ゾーン
- •環境学習ゾーン
- その他の環境学習

見学者対応機能

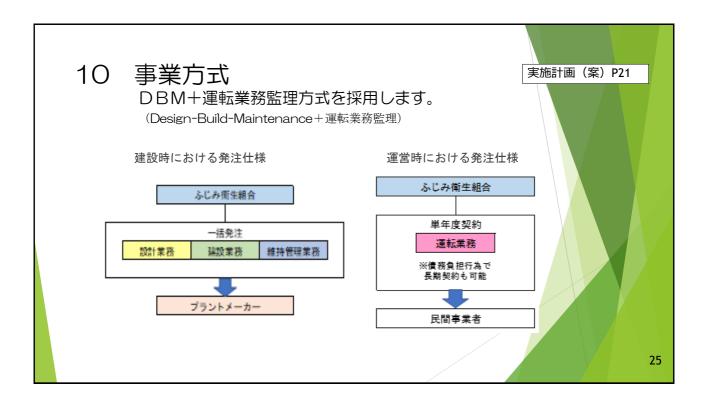
- 搬入から搬出までの一連の流れがわかる見学ルートを設置
- •見学者用窓は床からの 開口とし、施設内を良 く見えるようにする など

地域コミュニケーショ ン・市民への還元機能

- 集会などのコミュニ ティ活動に活用できる スペースを設置
- 市民が家具などを自ら 再生できるようリサイ クル工房を設置
- 粗大ごみ、不燃ごみ等について持込みができるようにする

防災機能

・クリーンプラザふじみからの電力及び温水を利用するとともに、備蓄倉庫機能を持たせるなど、避難所としての役割を果たせるよう自立化・多重化によるエネルギー確保など、施設の強靭化を追求



11 事業費

実施計画(案)P21

建設費

• 103億円~124億円(税抜き)

運営費

• 112億円~136億円(税抜き)

※運営費は、運営期間20年間を想定して計上しています。(運営期間については、今後、検討していきます。)また、物価変動等により、事業費が変わる場合があります。

施設整備に当たっては、財政負担の軽減を図るため、環境省所管の循環型社会形成推進交付金制度を活用します。

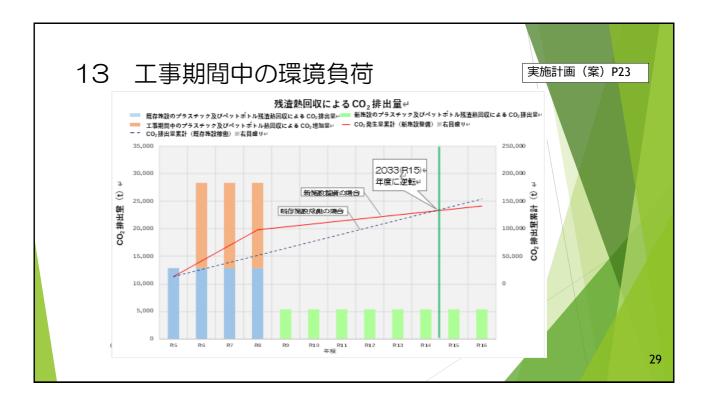


13 工事期間中の環境負荷

実施計画(案)P23

工事期間中はプラスチック及びペットボトルの熱回収(焼却)によりCOっが約16,000t/年増加すると想定しています。

▶ 新施設稼働後はプラスチックのリサイクル率の向上が見込まれる ことから、当組合でのCO₂排出量は現在より減少することが想定 され、工事期間中のCO₂増加分は約7年間で回収できると想定し ています。



14 市民参加について

実施計画(案)P24

情報発信に努め、市民の意見を可能な限り反映した施設とします。

- ▶ 新施設の整備に当たっては、事業の進捗等について組合の広報、ホームページ等を通じた情報発信に努めます。
- ▶ 市民を対象とした説明会やパブリックコメントの実施により、可能な限り市民の意見を施設づくりに反映します。

15 事業スケジュール

実施計画(案)P24

項目	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度
施設整備実施計画策定		策定				
PFI導入可能性調查						
生活環境影響調査						
土壤汚染調査						
アスベスト調査						
事業者選定			契 約			
工事期間中対応検討						
東棟・北棟改造設計・施工						
暫定処理						
中央棟解体工事設計・施工						
新施設建設工事設計・施工						
試運転						
袋工・稼動						竣工

31

現在パブリックコメントを実施中

令和5年6月6日(火)~令和5年7月5日(水)

☆案の公開場所

ふじみ衛生組合のホームページでご覧になれるほか、ふじみ衛生組合、 三鷹市ごみ対策課、調布市ごみ対策課で閲覧ができます。

☆ご意見の提出方法

表題に「ふじみ衛生組合リサイクルセンター整備実施計画(案)への意見」 と明記し、住所、氏名、電話番号、ご意見を明記したうえで、ふじみ 衛生組合へ直接持参(土・日を除く。)又は郵送・ファクス・Eメール にて提出して下さい。様式は自由です。

☆ご意見の提出先

ふじみ衛生組合施設課 〒182-0012 調布市深大寺東町 7-50-30 ファクス 042-482-5491 Eメール fujimi-shisetuka@fujimieiseikumjai.jp

より良い施設づくりのため多くのご要望・ご意見をいただきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました